



待っているところに演奏に行きたい

鹿嶋市木滝の阿波囃子復活

櫻鈴芸座連 さくらね げざれん



本新鹿嶋神社例大祭での山車の上で

鹿嶋市の女性だけでつくる芸座連「櫻鈴芸座連」が同市木滝地区に伝わる阿波囃子を再生し、鹿嶋神宮で奉納演奏した。

杭政雄さんが笛を演奏する指の動きを読み取り、譜面を起こし復活させた。

現在20人で活動している芸座連だが、昨年10月には、笛を担当していたメンバーが辞めてしまい存続の危機に直面した。しかし、

38曲も演奏が出来るようになった。道具も40年以上前のものを使用しているのも手入が大変、いつかは新しい道具を揃えたいと。今年に入り月2回ほど演奏する機会も増え、7月には、稲敷市の本新鹿嶋神社例大祭の山車にのり演奏を披露した。

老人ホームへの慰問を積極的に行っている芸座連「お囃子はお年寄りのリハビリにもなるのでぜひやってもらいたい」と、事前に練習しといってもらえればとても簡単なリズムなのですぐに覚えられると「自分たちが行くのを待っててもらえるところに演奏に行きたい。」とお年寄りの方たちと一緒に演奏を楽しむみたいと話していた。

11月8日には潮来の月まつりでも演奏を披露する。

ゴーヤで涼しく



日差しを遮る効果

西日よけにとゴーヤを育てているのはチャイニーズレストランぴあの石原昭男さん。今の場所に移動して2年。西日が強く困っていたところたまたま新聞で石岡市役所がゴーヤで西日よけをしているというのを見てやってみようと植えたのが今年の6月。

客さんのアドバイスなども受け、順調に育ち、たくさんの実もなった。病気に強く育てやすいゴーヤ。夏の日差しを遮ることで室内の温度上昇を抑える効果があり、冷房温度を控えることにより、省エネ効果も期待でき、収穫も楽しめる全国でもブームとなっている。

「食事をしながら緑が見られるのはとても気持ちがいい」とお客さんにも好評。収穫したゴーヤでゴーヤチャンプルなどを調理し、食べたところ美味しくできたという。石原さんは「1つのプランターで3つの苗を植えたから上まで育たなかったのかな。来年もぜひ挑戦します。」と笑顔で意気込んでいた。

